

ソフトバンク、全国3000店舗に災害時用蓄電池 停電時に充電可能に

2019/2/1 16:08 | 日本経済新聞 電子版

ソフトバンクは3月末までに「ソフトバンク」と「ワイモバイル」の全国約3000店舗に災害対応の蓄電池を配備する。停電時に利用者に対し、スマートフォン（スマホ）などの充電サービスを提供できるようにする。2018年の北海道胆振東部地震で発生した大規模停電を巡っては、同社の店舗に充電を求める人が殺到した。災害対策を強化し、通信インフラとしての信頼性を高めていく。

ショッピングモールの店舗などごく一部を除き、原則全店に導入する。各店舗にスマホなどを同時に複数台充電できる蓄電池を配置する。PIF（横浜市）製の蓄電池「LB-400」を採用し、一般的なスマホ40台をフル充電可能という。

避難所向けに充電や無料電話サービスを提供するための機器を合わせた「避難所支援キット」も用意する。各都道府県の事業所50拠点に20セットずつ設置し、災害時の支援体制を整える。今後も各店舗で太陽光発電設備の導入などを検討し、災害対策を進める。



ソフトバンクが各店舗に設置する災害対応の蓄電池。同時に複数台を充電できる

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.